

はじめに

教職は、将来の職業を考える場合に、割合身近な職業ではないでしょうか。子どもの頃から学校生活を通して慣れ親しんだ「先生」と呼ばれる職業です。ただ、最近では若い教職に就いたばかりの教員が、教職から去るケースが出てきています。せっかく、大学で教職課程を履修し、教育実習もこなし、教員採用試験を乗り越えてきたのに残念です。教員になって学校現場で行う教職の生の仕事が、大学で学び実習で経験した教職のイメージと異なるのでしょうか。実際に職場で仕事を始めるようになると、予期せぬ苦痛や不快さを伴う現実に出くわすのかもしれませんが。

どの職業にもいえることではありますが、教職の仕事は、やりがいがある一方で、それほど簡単な仕事ではありません。授業や生徒指導ができるのはもちろんのこと、学校組織の一員となって、同僚とうまく歩調を合わせていく力も必要ですし、子どもの保護者ともよい関係を築かなくてはなりません。子どもや保護者と接する中では、彼らの生活そのものにふれる部分もあり、やや複雑で深刻な部分や福祉的な部分にも向き合わなくてはなりません。また、保護者を含め地域からは、かつてのように単に教師という肩書きだけで尊敬される時代にはなく、むしろ教師個人としての力量が個々に判断されることが増えてきました。一人ひとりの教師がそれぞれに教職の専門的力量を備え、精神的にもしなやかでなければ務まりません。そういう意味では、教職のイメージは少し変わったかもしれません。

本書『学校がみえる教職論』は、教職に対するイメージをできるだけ現実に近い形で取り上げ、教職の仕事を正しく理解してもらえるようにと願って執筆しました。今、教育現場には、専門的な教育技術をもつ教員であると同時に、しなやかな精神力を備えた教員が必要とされています。本書が、みなさんにとって教職を正しく理解するための一助となれば幸いです。

2012年3月

編著者

学校がみえる教職論

目 次

はじめに	i
第1章 教職とは	1
(1) 教職の意義と役割	1
(2) 教員の任用と職種	14
(3) 教員免許制度	18
(4) 教員採用候補者選考（教員採用選考試験）	28
第2章 教員の職務内容	37
(1) 日常の仕事	37
(2) 校務分掌	38
(3) 職員会議	38
(4) さまざまな文書の取り扱い	41
(5) 新任者教員の日常	44
第3章 教育実習	49
(1) 教育実習とは	49
(2) 教育実習の内容および注意点	50
(3) 教育実習の評価	53
(4) 教育実習体験談	55
第4章 教員に対する懲戒処分	57
(1) コンプライアンス（法令遵守）	57
(2) 懲戒処分と分限処分	58
第5章 困った先生	61
(1) 自分の見通しを急に変更されると不快に思う先生	61
(2) 教師としてのスキルを向上させることに抵抗を示す先生	62
(3) 子ども達の変化を受け止められない先生	63

- (4) 教えてくれない・教えられないと言って嘆く先生 63
- (5) 教師としての常識を欠く先生 64
- (6) 失敗や困っていることを誰にも話せない先生 65
- (7) 仕事を狭く捉える先生 65
- (8) 同僚教師を広い心で認められない先生 66
- (9) トラブルを過度に避けたがる先生 67
- (10) 家庭の問題を職場に持ち込む先生 67
- (11) 学校の仕事を楽めない先生 68

第6章 教員の精神性疾患とストレスマネジメント 69

- (1) 精神性疾患 69
- (2) 学校特有の原因や構造 70
- (3) 精神性疾患教員の具体例 72
- (4) 精神性疾患に自分自身を追い込まない方策 75
- (5) 教員間でできるプログラム例 76

第7章 学級経営・ホームルーム経営 82

- (1) 学級経営・ホームルーム経営とは 82
- (2) 学級で行われる日常的な活動（学級の日） 85
- (3) 学級経営案 87
- (4) 学級目標 90
- (5) 手本としての教師 91
- (6) リーダーとしての教師 92
- (7) 叱ることのできる教師 93
- (8) 教師の自己開示 94
- (9) 教室の開放 96
- (10) 教室環境 97
- (11) 道徳教育 98
- (12) 学級崩壊 100

- (13) キョウユウ Q-U (Questionnaire-Utilities) 102
- (14) 学級におけるいじめへの取組み 104
- (15) よい学級とは 105
- (16) 支援が必要な児童生徒 106
- (17) さまざまな事情を抱えた児童生徒への配慮 110
- (18) 生き生きとした学級・ホームルームを作るために 112
- (19) 学年経営 113

第8章 学習指導..... 116

- (1) 授業とは 116
- (2) 学習指導案の作成 117
- (3) 授業スキル 125
- (4) 説明と指示 126
- (5) 板書計画 127
- (6) 発問 128
- (7) 教材研究 130
- (8) 授業の進め方 131
- (9) よい授業とは 132
- (10) よい授業へのヒント 133
- (11) 週案の作成 136
- (12) 授業エスケープ 136
- (13) 基礎学力 137
- (14) 指導の工夫 138
- (15) 電子黒板の活用 140
- (16) テスト作成 142
- (17) 学習評価と通知表 143
- (18) 教科書などの使用について 146

第9章 教室の規律	149
(1) 規律の形成	149
(2) 学級のルール	150
(3) わが国独自の注意法	151
(4) 静かに話を聞くために	151
(5) ほめることと叱ること	153
第10章 保護者との連携	156
(1) 無理難題要求の背後にある孤立	156
(2) 無理難題要求のタイプと限界設定	157
(3) 保護者理解	158
(4) 保護者理解の土台は教師の普段の振る舞い	158
(5) 苦情はチャンス	159
(6) 初期対応	159
(7) 人間性と気迫	160
(8) 保護者連携の具体策	160
第11章 新任教員の心構え	165
(1) お世話になる初任者指導教官	165
(2) 初任者研修制度の概要	166
(3) 初任者教員がこれから自立した教員になるために	167

